

## 2月17日：ベトナム株は今週も不安定な動きか

世界経済は不透明でありリスクが多くあるが、ベトナム市場は政府の政策によるポジティブなニュースによって支えられている。

2週連続の下落の後に、先週は反発をした。しかしながら、小幅な値上がりと低い流動性は資金流入への懸念を表している。

ホーチミン取引所のVN指数は0.1%高の1,059.31ポイントで取引を終えた。ハノイ市場のHNX指数は0.42%安の209.95ポイントで取引を終えた。

VNダイレクト証券のアナリストによると、先週は銀行の預金・貸出金利の引き下げといった良いニュースがあった。

さらに、政府は不動産セクターの困難を取り除くためのカンファレンスを開いており、そのことが不動産セクターの上昇につながった。

しかし、キャッシュフローの流入は非常に弱く、低い流動性となっている。

ホーチミン市場の売買代金は12.2%減少し43.1兆ドン（週間）となった。ハノイ市場は13.9%増加し4.85兆ドンだった。

ミラエアセット証券のアナリストは、流動性は底を打ち、市場に投資機会を与えていたとコメントした。

買い越しが多く続いた後、外国人投資家は売り越しとなった。両市場合わせて4,100億ドンを売り越した。

サコムバンク（STB）がもっとも売られた。先週の市場に影響を与えたのは、米国の労働市場は堅調でインフレも高止まりしているという経済データであった。

このことが今後の米国の利上げの継続を示唆することになった。

国内では、投資家は不動産市場の健全で持続可能な成長に向けてのカンファレンスに注目しており、政府が政策を取るとの期待が高まっていた。

短期的には、金利の引き下げはポジティブだが、世界経済は不透明である。ロシア・ウクライナの問題は過激化しており、エネルギーや素材の価格が不安定となるだろうとサイゴンハノイ証券は考えている。

そのため、金利の上昇とインフレの上昇は依然として大きなリスクである。

一方、MB証券はポジティブな点として値上がり銘柄が多く、買いが広がっていることを挙げている。

また、流動性は低下しているが、そのことは売り圧力も強くないことを示している。

VN指数は1,040-1,075ポイントで上下するだろうと予想した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。